

8-1-6 対外活動委員会WG(国総研・土研)

1. 対外活動委員会WG(国総研・土研)の概要

(1)WG(国総研・土研)の活動目的

国総研・土研との意見交換会は、地方ブロック意見交換会にならない、平成25年度から実施されている。平成26年度から対外活動委員会WG(国総研・土研)を設立し、意見交換会のテーマ設定、国総研・土研への「要望と提案」の作成などを行っている。

(2)WGの構成(委員)

WG長は常任委員長、副WG長は技術委員長である。その他委員は3名で、総勢5名で構成されている。

2. 主な活動の記録

(1)WGの開催実績

WGは、以下の日程で3回開催した。このうちの2回は、WG長、主要メンバーならびに協会事務局による国総研及び土研との担当者打合せ。

第1回：令和元年9月25日

第2回：令和元年10月17日(事前調整)

第3回：令和元年11月29日(事前調整)

(2)アンケートの実施と「要望と提案」作成

国総研・土研業務の受注実績がある会員を対象として、業務遂行上の課題などについてアンケート調査を実施した。その結果を反映して、改正品確法を踏まえた「要望と提案」および付属資料を作成した。

「要望と提案」(国総研)の骨子は以下のとおりである。

I. 担い手の育成・確保のための環境整備

(1)働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働の取組み推進

- ① 発注時期の前倒し
- ② 納期(履行期限)の平準化
- ③ 受発注者協働によるワークライフバランスの改善
- ④ 柔軟な契約方法の適用

(2)企業経営の安定に向けての環境整備

- ① 発注量の安定的確保

(3)人材の育成・確保の環境整備

- ① 若手技術者を育成する入札・契約制度の導入
- ② 交流研究員に関する制度改定

II. 技術力による選定

- (1) プロポーザル方式による業務発注の継続

III. 品質の確保・向上

- (1) 受発注者のコミュニケーションの円滑化
- (2) 品質向上に向けた複数年度契約

(3)意見交換会テーマの設定

国総研・土研の意見交換会は、地方ブロックの意見交換会とは異なり、「要望と提案」の説明とそれに対する回答に終始するのではなく、毎年、意見交換を行うテーマを設定し、それについても議論を行っている。今年も国総研・土研と事前に協議しテーマ設定を行った。今年、国総研・土研との技術的な連携や協働を目的として、建コン協の新技术活用事例の紹介することになった。

(4)意見交換会の開催

国総研・土研との意見交換会を令和元年12月17日に開催した。意見交換会の議事は、下記のとおりである。

(1) 地方ブロック意見交換会の報告

(2) 建コン協からの要望・提案

(3) 新技术活用事例の紹介

(4) 意見交換

3. 次年度の活動について

次年度も今年度と同様、アンケートを実施し、その結果を要望と提案に反映させ、意見交換会に臨む。また特別テーマ(個別課題)についても、WGで、意見交換に相応しいと思われるテーマを選定後に国総研・土研と事前協議を行う。

(対外活動委員会WG(国総研・土研)

WG長 松田 寛志)